

内海信之 うちしん 詩人、評論家。明治十七年八月二十日兵庫縣生れ、

昭和四十三年六月十四日没（八六—五六）。筆名うたかた、信之、内

海泡沫、内海生、内海青潮等。明治二十五年新詩社に加盟し雑誌『明

星』の他、『文庫』、『新聲』、『白虹』等に詩を發表。大正に入り

大養毅の憲國政黨に入黨。評議員・宣傳部長として各地を遊説し、

諸誌に政論等を執筆。昭和十七年樽曲村村長となる。

著書、詩集『花』（昭和二十五年十一月）二十五頁兵庫・詩集『花』刊

行會）、詩集『硝煙』（昭和二十八年四月）二十頁兵庫・詩集『硝煙』刊行

會）、『内海信之人と作品』（内海繁編、昭和四十五年十一月）二十五

頁（田畑書店）等。

